

KELES Newsletter

関西英語教育学会
ニューズレター

2005年(平成17年) No.2 3月号

事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL:075-466-3261(直通)

E-mail: keles@infoseek.jp

編集発行: 関西英語教育学会(KELES)

立命館大学産業社会学部 吉田研究室内

FAX:075-465-8196 (大学事務室)

Home Page: <http://keles.hp.infoseek.co.jp/>

重要

第9回 関西英語教育学会 研究大会のご案内 (第2報)

発表応募期間が延長されました

発表応募締切: 2005年 3月25日(金) 24時

3月1日現在の研究発表申し込み状況を勘案し、事務局において協議した結果、下記のとおり、締め切り期間の延長を決定しました。会員の皆様におかれましては、最近のご研究、日々の教育の実践報告について、また、院生諸氏におかれましては、修士論文等の成果を踏まえての学会デビューの場として、積極的にご発表のお申し込みをいただきたくどうぞよろしくお願いいたします。今回は、郵送・電子メール添付の両方で申し込みができます。詳細は3-4ページをご覧ください。

重要

年会費納入のお願い

未納の会員には振込用紙を同封させていただきました。

◆ 第8回卒論・修論研究発表セミナーの報告

大会委員長 赤松信彦(同志社大学)

第8回卒論・修論研究発表セミナーが2月12日(土)(10:00-17:30)、京都市の同志社大学今出川キャンパスで開かれました。参加者は100名を超え、活発な研究発表が行われました。

発表者は21名(卒論13、修論8)で、午前中は卒業論文研究、そして、午後は主に修士論文研究の発表が行われました。それぞれの論文発表の後には、活発な質疑がなされ、参加者の皆さんやコーディネータ

ーの先生と発表者との間で有意義なディスカッションが展開されました。発表に対しては、時には厳しい指摘もありましたが、全般として、丁寧な暖かい助言が多かったように感じました。

スペシャル・トークでは、慶應義塾大学の今井むつみ先生が、「レキシコンの発達の研究に取り組んできた経緯、そこから得られたもの、そして今後の研究の展望」と題して、御自身のアメリカでの院生時代の研究から、今取り組んでおられる研究テーマ「こどものメンタルレキシコンの発達」に至った経緯を、具体的な例をまじえながら、熱っぽくお話し

ださいました。「自分が知りたい事、興味のある大きなテーマに焦点を当てつつも、内容を十分絞り込み、ひとつの研究として完成させることが重要である」といった、研究に対する姿勢についてのお話や、「幼児の名詞・動詞の習得」に関する最新の研究成果のお話など、学生のみならず、研究者の我々にとっても、刺激の多い内容で、90分があっという間に過ぎてしまいました。

セミナーの後に開かれた懇親会には、発表者を中心に、約40名の方々が参加してくださいました。親しみやすい雰囲気の中、和やかに歓談されている学生と教員の姿が印象的でした。

◆ 第8回卒論・修論研究発表セミナーを終えて

大会運営委員長 綱井勇吾（京都大学大学院）

去る2005年2月12日(土)に京都の同志社大学(今出川校地)で、第8回「卒論・修論研究発表セミナー」が開催され、学生たちによる研究発表が行われた。発表者は総勢21名(卒論13、修論9)であり、発表者の数自体は昨年度に比べて(昨年度は33名)若干減少してはいたものの、研究内容の質は非常に高度であり、例年に比べても遜色なく、むしろ回を重ねる毎にその内容は非常に洗練されてきていると思われる。

発表時間は卒論30分、修論40分と決して長くはなかったが、発表者は慣れない機材に戸惑う様子を見せることなく、堂々と自身の言いたいことを明確に伝え、プレゼン終了後には会場からの質問にも的確に答えている姿には驚嘆させられると同時に、発表後の緊張感から開放された安堵感と達成感が入り混じった笑顔が非常に印象的だった。また質疑応答の場面では、特に学部

3回生の発言が目立ったのも印象的だった。本セミナーの趣旨のひとつである「学年や学校の枠を越えた学生間による知識交換」が達成されたと言えるのではないだろうか。

ただ今後さらに本セミナーを発展・成功させていくためには、(1)研究内容のさらなる充実(様々な大学の参加 etc)、(2)学生などによる積極的な宣伝・広報活動が重要であると思われる。

恒例のスペシャルトークでは、今井むつみ先生(慶応大学)を講師として迎え、主に「こどもの言語発達」に関して、御自身の院生時代の逸話なども交えながら、最新の研究動向についてお話しいただいた。会場には先生方だけではなく多くの学生も見られ、各々に知的好奇心を喚起された様子で、特に「研究に対する真摯な態度が参考になった」「もっと聴いていたかった」などの声も多く聞かれ非常に素晴らしい講演であったと思われる。

大会終了後には、同志社大学内にあるカフェ・レストラン「アマーク ド パラディ寒梅館」で懇親会が催され、発表者やコーディネータの先生方を中心に、普段交流のない先生方や学生間による親睦がさらに深められ、第8回「卒論・修論研究発表セミナー」は和やかな雰囲気の中幕を閉じた。

最後に、大会を無事終えることができ非常に良かったと思うと同時に、今回の標語となった「infinity」に込められた想いのように(アラビア数字「8」を別の角度から眺めることで「無限大」という別の意味になる etc)、本セミナーが発表者や参加して下さった学生の方々にとって「複眼的思考法」を身に着ける契機として少しでも役立ったならば、大会実行委員としてこれ以上幸いなことはない。

第9回 関西英語教育学会 研究大会のご案内 (第2報)

- ◆ 日時：2005年(平成17年)5月28日(土)、29日(日)
- ◆ 会場：同志社大学 今出川キャンパス <http://www.doshisha.ac.jp/>
- ◆ 内容：実践報告、研究発表、ワークショップ・講演・シンポジウム
- ◆ 講演：(英語構文に関するテーマ)
講師：高見 健一 氏 東京都立大学(英語学・言語学、機能的構文論)
- ◆ シンポジウム：(英文法研究・指導に関するテーマ)
織田 稔 氏 元関西大学(英語学・英語教育学)
赤野 一郎 氏 京都外国語大学(コ・パス言語学、語法研究)
山本 英一 氏 関西大学(語用論、意味論)
- ◆ 発表応募部門
 - 1) 実践報告(発表20分+質疑10分)：小・中・高・高専・大等での授業実践に関する発表。日頃実践されている授業の断面を切り取ったり、テーマを絞って実践上の工夫や悩みについてフロアーの参加者に話題を提供していただきます。
 - 2) 研究発表(発表20分+質疑10分)：英語教育を中心として外国語教育および関連分野に関するテーマを扱ったもので、理論研究、実践研究いずれも歓迎です。
 - 3) ワークショップ(90分)：最近話題になっている理論的トピックや英語教育をとりまく実践上の問題などについて、特定のテーマを設定してご提案下さい。提案者は2～4名程度(司会者を含む)。

◆ 発表応募方法：

原則として、電子メールに発表応募用紙(Wordファイル)添付での申し込みとさせていただきます。

発表応募用紙を、下記ホームページより応募期間中にダウンロードし、枠内の必要事項をすべてご記入のうえ、電子メール(件名：KELES 発表)に応募用紙(Wordファイル名：ご氏名)を添付して、事務局まで添付メールでお申し込み下さい。

学会ホームページ：<http://keles.hp.infoseek.co.jp/>

学会事務局メールアドレス：keles@infoseek.jp

今年度は、同封の発表応募用紙による郵送も受け付けさせていただきますが、来年度より、業務合理化のため、電子メール、またはオンラインによる申し込みに限らせていただきます。

➤ 郵送先：〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学産業社会学部
吉田研究室内 関西英語教育学会事務局

◆ **発表応募期間：2005年2月14日(月)～3月25日(金)24時**

➤ 採否の別の通知：4月上旬

◆ **大会予稿集原稿締切：2005年5月2日(月)必着**

➤ 大会予稿集原稿：詳細は、追って発表者の方にお知らせします。

◆ プログラム送付：4月末日

◆ **発表応募の確認**：電子メールの場合はメールで、郵送の場合は葉書で、それぞれ折り返し、受領の旨ご連絡させていただきます。申し込み後、1週間過ぎても通知がない場合は、お手数ですが電子メール keles@infoseek.jp または郵便で、事務局までお問い合わせ下さいませよう願います。

◆ **発表応募資格**：関西英語教育学会会員に限りますが、連名者については必須条件ではありません。なお会費未納の場合、発表資格を失いますのでご注意下さい。

- <重要> 会計よりお知らせ -

年会費をまだお支払いでない方は最寄りの郵便局にてお振込み下さい。

- | | | | |
|---------------|-------|----------------|-------|
| 1. 一般会員(関西のみ) | 5000円 | 2. 一般会員(関西+全国) | 7000円 |
| 3. 学生会員(関西のみ) | 3000円 | 4. 学生会員(関西+全国) | 5000円 |

郵便振込：00910 - 7 - 39666

加入者名：関西英語教育学会

年会費に関するお問い合わせは会計岡 良和(人間環境大)まで oka@uhe.ac.jp

他学会の動向

JACET 関西支部春季大会：6月4日
(土)和歌山大

LET 春季大会：5月21日(土)同志社
大(京田辺キャンパス)

新入会員 (2004年2月～3月)

辻 祐子、江藤 由布、山本 真理
吉田 和史、松村 早希子
(申込順、敬称・所属略)

- 名簿係よりお知らせ -

入退会の問い合わせ、異動・転居の連絡先
に関する問い合わせは下記まで。

〒737-0112 広島県呉市広古新開 5-1-1

広島国際大学 倉本充子研究室

keles_nyukai@infoseek.jp

- 会計・名簿係からのお願い -

年会費未納分のある方は、至急納付し
ていただきますよう御願いたします。
特に、2004年度会費未納の場合、2005
年度に開催されます全国英語教育学会
(札幌) KELES 研究大会(京都)での
研究発表や、学会紀要への投稿資格を失
うこととなりますのでご注意下さい。

問合せ先：keles_nyukai@infoseek.jp

(発行日 2005年3月7日)

< 郵送用 > 第 9 回関西英語教育学会研究大会発表応募用紙			受 理
1. 発表部門	<input type="checkbox"/> 実践報告 <input type="checkbox"/> 研究発表 <input type="checkbox"/> ワークショップ		
2. 氏名 (フリガナ)		3 単独・共同 発表の別	<input type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/> 共同
4. 連絡先住所	〒		
5. E-mail		6. Tel	
7. 所 属		8. 会員種	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 学生会員 <input type="checkbox"/> 賛助会員
9. 共同発表者(氏 名・所属)			
10. 発表題目(和文)			
11. 発表題目(英文)			
12. 発表言語	<input type="checkbox"/> 日本語 <input type="checkbox"/> 英語		
13. 使用機器	<input type="checkbox"/> PC プロジェクター <input type="checkbox"/> OHP <input type="checkbox"/> OHC <input type="checkbox"/> テープレコーダ <input type="checkbox"/> ビデオ:VHS <input type="checkbox"/> その他 ()		
14. 発表要旨(発表言語で記入。語数・字数は記入要領をご覧ください。)			

発表応募用紙 記入要領

下記の項目を熟読の上、ご記入いただきますようお願いいたします。

原則として、電子メールに発表応募用紙添付での申し込みとさせていただきます。

- 応募期間中に裏面の応募用紙を KELES ホームページからダウンロードして下さい。詳細はニュースレターをご参照下さい。

郵送による応募の場合、応募用紙を A4 に拡大コピーしてご使用下さい。

() は、該当するものに (○) 印をしてください。

内容はオリジナルで未発表のものに限ります。

項目 1: それぞれの部門の詳細はニュースレターをご参照下さい。

項目 2-8: 実践報告、または研究発表で 共同発表 される場合、発表代表者 の郵便番号、住所、氏名、Tel、E-mail を記入して下さい。共同発表者については、項目 8 に氏名・所属を記入し、別途応募用紙を提出する必要はありません。

項目 2-8: ワークショップの場合、企画代表者(司会者) の郵便番号、住所、氏名、Tel、E-mail を記入して下さい。各提案者については、項目 8 に氏名・所属を記入し、別途応募用紙を提出する必要はありません。

項目 7: 大学院生の場合は、大学大学院 院生とご記入下さい。

項目 10,11: 発表言語にかかわらず、発表題目は、和文と英文の両方で記入して下さい。

項目 13: プレゼンテーション用コンピュータ(およびコネクター)は各自持参して下さい。PC プロジェクターとスクリーンのみ準備いたします。

項目 14: (内容)

- 実践報告は、担当学年・クラスサイズ・授業目標・指導手順など、
- 研究発表は、研究の背景・目的・仮説・方法・結果など、
- ワークショップは、趣旨・内容など、について、それぞれ明確に記入して下さい。

項目 14: (字・語数、言語、フォント)

- 実践報告、または、研究発表の場合、和文=約 400 字、英文=約 200 語。
- ワークショップの場合、和文=約 1000 字、英文=約 300 語。
- それぞれの発表言語で記入して下さい。
- フォントは、和文では、MS 明朝 10.5 ぽ、英文では、Century 10 ぽをご使用下さい。
- 別紙に印刷して応募用紙の枠内に切り貼りし、コピーして提出していただいても結構です。

和歌山地区セミナー

- 日時：平成 17 年 3 月 19 日（土）午後 1 時 30 分～5 時 20 分（受付 1 時～）
- 場所：和歌山市民会館 4 階第一練習室（南海「和歌山市駅」を西南に徒歩約 5 分、南海「難波駅」から「和歌山市駅」は特急（毎時 1 本）で約 1 時間、JR「和歌山」駅より和歌山市駅行きバスで約 15 分）
- 住所：和歌山市伝法橋南ノ丁 7、電話（073）432-1212

セミナースケジュール

1:00~1:30：受付

1:30~1:40：開会のことば

1:40~2:10：「Reception strategy を使ったリスニング活動」

戸川定昭（海南市立第一中学校・兵庫教育大学大学院）

2:10~2:40：「工業高等専門学校における英語教育---現状と展望---」

森岡 隆（独立行政法人国立高専機構・和歌山高専）

2:40~2:45：休憩（5 分）

2:45~3:15：「'Read and Look up'を用いた音読が聴解能力に及ぼす効果」

土居美由紀（県立和歌山商業高等学校・和歌山大学大学院院生）

3:15~3:45：「小学校英語教育の問題点---教育方法に視点をあてて---」

辻 伸幸（貴志川町立喜志小学校・和歌山大学大学院院生）

3:45~3:55：休憩（10 分）

3:55~5:15：講演「私の英語授業実践：大学から中学・高校へ」

沖原 勝昭 氏（神戸大学）

5:15~5:20：閉会のことば

お問い合わせは、KELES 事務局まで keles@infoseek.jp